



愛する故郷を世界にアピール

チーム長野 レーシングライダー 櫻山 茂昇 (37歳)



「行政の後援を受けたチームはうちだけのはず。市民の皆さんには『私達のチームが走る』という思いで応援していただき、バイクファンには長野や小諸をアピールできれば嬉しいです」。最新情報は、<http://rp-nagano.com/>を参照

バ イクに興味が無い人でも「鈴鹿8耐」という名前は聞いたことがあるだろう。「鈴鹿8時間耐久ロードレース」は、84か国で生放送され、世界中が注目するバイクレース。今年は40回目のメモリアルであり、世界耐久選手権の最終戦でもあるため例年以上の盛り上がりが予想される。そんなレースに長野県から唯一出場するライダーが櫻山さん。所属する「チーム長野」は、今年3月懐古園での出陣式を皮切りに、長野の

ト 魅力を8耐から世界へアピールすべく活動中。8耐は3人が交代で走ることで、今年は静岡のチームと合同で出場する。トップスピード時速300 kmの世界。真夏の鈴鹿の路面温度は50℃以上になる。過酷な環境で走り続けるマシンは特別仕様で、一つ数十万円という部品も多く、お金がかかる。事故で頭を打ち、その日の記憶がないこともある。それでも続けるのはレースが好きだから。「あり得ない速度の中で全神経を研ぎ澄

まし、至近距離で競り勝った時の達成感、ほかのスポーツでは味わったことのない緊張感がいいんです」。

物 心ついた時からバイクが好きだった。18歳で中型二輪免許を取り、20歳で50 ccのレースに初参戦した。それからは休みの度に、当時住んでいた佐久市から群馬や埼玉、時には新潟・岐阜・兵庫のサーキットまで通った。125 ccのクラスでスランプに陥り辞めようと思ったこともあったが、どうせならもっと大きなバイクにと600 ccに転向すると間もなく大きな大会で優勝。年間ランキング2位に輝き国際ライセンスを取得した。8耐には昨年も出場したが、本意な成績だった。今年は完全燃焼目指して燃え尽きる覚悟だという。本選は7月30日。「この記事が出る頃にはいいお土産を持って



小諸図書館のイベントには長野市からのファンの姿も。「小柄な櫻山は重量・風圧的に有利。ストレートが速い」とスタッフの市川さん(中央)

8 帰りたい」と意気込んだ。「ミスしても終わりにじゃないところがいい。頑張ればやり直しがきくんです」。8耐は人生のようなレースなんです。8耐が終わっても、ドカ

ンショでの展示など「チーム長野」の活動は終わらない。サポーターも引き続き募集する。問い合わせは、バイクショップ「ネクストデザイン(〓市内丙)」080・5109・3656まで。

(取材・文 村松 マヤ)

茄子のはなす

ゆらさんの四季の薬膳

暑さのせいで少々ナマってしまいました。茄子はインド原産で、奈良時代にはすでに栽培されていたとの記録が残っています。茄子はほとんどが水分ですが、皮のあの茄子紺はアントシアニン系の色素ナスニンによるもので、コレステロール値を下げる効果があるとされています。

薬膳では大昔から体内の熱を取り除き、余分な水分を排出する夏の野菜として活用されてきました。その他にも血便や尿の出が悪いとき、胃の不快感、食欲不振にも効果を発揮します。水分代謝が上手いはず、むくみやすい夏には積極的に取り入れましょう。夏、私が必ず作る茄子料理を紹介してみます。茄子4本は縦半分に割り、それをさらに2等分し、1センチ幅の縦切りに。薄切りのにんにく1片を油で炒め、茄子を加えてやわらかくなるまで炒めます。醤油小さじ2、ナンプラー小さじ1で味付けしたら、千切りのシソを載せて召し上がれ。(国際中医薬膳師 小清水由良)